

令和元年度「NPO共生・協働・かごしま推進事業」実施結果

(事業名)がん患者ピアサポーター養成によるがん患者や家族の支援事業

実施主体

(団体名)特定非営利活動法人 がんサポートかごしま
(担当課名)健康増進課



背景

平成28年9月に総務省による勧告によると、都道府県等におけるがん患者のピアサポート研修の実施については、十分に進んでおらず、がん診療連携拠点病院等におけるピアサポーターの活動状況についても芳しくないことが分かった。

その理由としてピアサポーターの相談対応力に関することや、患者とのトラブル時における対応など、「ピアサポーターの質が十分に担保されていないことへの懸念が原因になっていることが考えられた」と報告されている。

地域課題

がん患者とその家族は、がんと診断された時から身体的苦痛、精神心理面や社会生活面において様々な苦痛に直面している。このため、がん診療連携拠点病院の相談支援センターやがん患者会等によるがん患者サロンでは、がん患者や家族の不安や疑問に適切に対応し、患者の立場に立った相談支援の体制が必要であるが、本県では二次保健医療圏において、ピアサポーターが活動していない状況である。

このため、研修等の実施によりがん患者のピアサポーターを養成し、がん患者サロン等における取組を促進する必要がある。

事業のねらい

がん患者ピアサポーターを養成する研修会とサロンにおける実地研修を実施することで、ピアサポーターを養成し、地域の拠点となる医療機関や行政との連携を充実させ、継続的な「がん患者サロン」へのピアサポーター派遣体制の構築を図ることで、がん患者とその家族の支援につなげる。

事業概要

1 ピアサポーター養成講座の実施

ピアサポーターを希望する方を対象に研修会を実施

実施年月日: 令和元年9月～11月

実施場所 : 鹿屋市, 薩摩川内市, 奄美市のがん診療連携拠点病院

内 容: ピアサポーターの基礎知識, 事例紹介, ロールプレイ等を千葉県や全国のピアサポーター養成事業に先進的に携わっているNPO法人支え合う会「α」の野田真由美氏を講師に迎え実施。また、がんに関する医学的知識については、各病院の医療スタッフ等により研修を実施した。



2 サロンにおける実地研修の実施

養成講座を受講した方を対象に患者サロンにおいて実施

実施年月日: 令和元年11月～令和2年2月

実施場所 : 鹿屋市, 薩摩川内市, 奄美市のがん診療連携拠点病院

内 容: 関係者が見守る中で、がん患者等の相談に直接対応し、そのフォロー等を実施

成果

1 ピアサポーター養成講座の実施

受講者数: 18人

ピアサポーターの基礎知識, がんの医学的知識, 対応事例, コミュニケーションスキル, ロールプレイ等を実施した。

受講者からは「大変勉強になった」などの意見が出された。

2 サロンにおける実地研修

ピアサポーター養成人数: 11人

がん診療連携拠点病院の協力のもと、それぞれの地域の患者サロンにおいて実地研修を実施した。

今回の研修により11人のピアサポーターを養成できた。



協働の状況

- NPO法人がんサポートかごしま
研修会の企画
研修会の実施
- 県健康増進課
がん診療連携拠点病院との調整
市町村担当者との調整
研修会の周知・広報

今後の取組

- 養成したピアサポーターが各地域において、サロン運営に継続的に関わっていくことができるように、派遣に係る調整を行うとともに、ピアサポーターに対しフォローアップ研修を実施するなど、質的、精神的なフォローアップを実施する。



協働事業の感想

団体からの声

受講生から「そもそもサロンがあることを知らなかった」「もっとみんなに知ってもらいたい」といった声を多く聞かれた。今後ピアサポーターとして地域のがん患者・家族支援に大きな役割を果たしてもらえるのではないかと期待している。今後も協力いただいた拠点病院と連携を図り、フォローアップなどを行い、息の長い活動ができたらと考えている。

担当課からの声

本事業において養成したピアサポーターの皆様が、今後、がん患者サロン等において活躍することで地域のがん患者・家族の支援に繋がることを期待している。

これからも、研修に協力いただいたがん診療連携拠点病院の皆様と連携しながら、ピアサポーターのフォロー等につなげていきたい。